



2022年6月6日

各 位

会 社 名 サンケン電気株式会社
代表者名 代表取締役社長 高橋 広
コード番号 6707 (東証プライム)
問合せ先 IR部長 岩田 卓也
TEL (048)472-1111

グリーンボンド発行に関するお知らせ

サンケン電気株式会社（本社：埼玉県新座市、以下「当社」）は、当社初となるグリーンボンド（以下「本社債」）の発行に向け、準備に入ることと致しましたのでお知らせします。

本社債については本年3月に発行を予定し、その後市場環境に鑑み、一旦発行を延期しておりましたが、足元の市場環境等を総合的に判断し、改めて発行準備に入ることとしたものです。

1. 本社債の概要

名 称	サンケン電気株式会社第14回無担保社債 (社債間限定同順位特約付) (グリーンボンド)
発行総額	50億円 (予定)
発行年限	5年 (予定)
発行時期	2022年6月 (予定)
資金使途	電気自動車(EV)向け半導体製品 ・ EVトラクションモータ用パワーモジュール ・ EV向けシリコンカーバイド(SiC)デバイス
ストラクチャリング・エージェント*	大和証券株式会社
主幹事証券会社	大和証券株式会社、みずほ証券株式会社、 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

※その他詳細は、決定後にお知らせします。

*「ストラクチャリング・エージェント」とは、SDGs 債の発行にあたって、フレームワークの策定やセカンドオピニオン取得に関する助言等を通じて、SDGs 債の発行支援を行う者のことです。



2. グリーンファイナンス・フレームワークの策定及びセカンドオピニオンの取得

本社債の発行にあたり、国際資本市場協会（ICMA）の定める「グリーンボンド原則 2021」、環境省の定める「グリーンボンドガイドライン 2020」、ローン・マーケット・アソシエーション（LMA）、アジア太平洋ローン・マーケット・アソシエーション（APLMA）及びローンシンジケート&トレーディング・アソシエーション（LSTA）の定める「グリーンローン原則 2021」及び環境省の定める「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン 2020」に基づいて、以下の4つの要素について定めたグリーンファイナンス・フレームワーク（以下「本フレームワーク」）を策定しました。

- ① 調達資金の使途
- ② プロジェクトの評価と選定のプロセス
- ③ 調達資金の管理
- ④ レポーティング

■ サンケン電気株式会社 グリーンファイナンス・フレームワーク

[フレームワーク詳細については2022年2月10日付リリースに添付の別紙をご覧ください]

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/6707/tdnet/2083131/00.pdf>

なお、本フレームワークについて、株式会社格付投資情報センター（以下「R&I」）より、上述の各原則との適合性に関する外部評価（セカンドオピニオン）を取得しています。

■ R&I セカンドオピニオン

<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/greenfinance/index.html>

3. 調達資金の使途

本社債の発行により調達した資金は、以下の適格クライテリアを満たすプロジェクトに対する新規支出及び既存支出のリファイナンスに充当する予定です。

グリーンボンド原則 事業区分	適格クライテリア	適格製品例
クリーン輸送	<ul style="list-style-type: none">• 電気自動車(EV)向け半導体製品に係る設備投資及び研究開発	<ul style="list-style-type: none">• EV トラクションモータ用 パワーモジュール• EV 向けシリコンカーバイド (SiC) デバイス

以 上